

第28回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第28回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」、サブテーマを「地域の脱炭素化に向けた取組について」として、議論を行いました。
- 今回の研究会では、最初に、環境省 水・大気環境局 総務課の福島課長から、「脱炭素社会の実現に向けた地域脱炭素の取組について」と題して、御講演をいただきました。

講演では、脱炭素社会の実現に向けた政府全体の動きや脱炭素地域づくりに係る具体の取組・支援策などについて、御教授いただきました。

今後の地方の取組を考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、福島課長には感謝しております。
- 次に、事務局から「福岡県地球温暖化対策実行計画（第2次）」について、説明がありました。
- 次に、九州電力株式会社の中村委員から、「カーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」と題して、九州電力グループにおけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組について、情報提供していただきました。
- 次に、電源開発株式会社の作野委員から、「J-POWERにおける石炭火力の脱炭素化への取り組み」と題して、J-POWERグループにおける石炭火力の脱炭素化への取組について、情報提供していただきました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、地域の脱炭素化に向けた取組について委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」として、地域の脱炭素化に向けた取組の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組に活かしていただきたいと思いますと考えております。